

資料

植物検索 (秋編) — 岡山県自然保護センターの秋に見られる植物から —

岡山県自然保護センター 西本 孝 (監修)
岡山県自然保護センターボランティア植物班

INDEX TO MAIN FLOWERING PLANTS IN AUTUMN GROWN IN THE OKAYAMA PREFECTURAL NATURE CONSERVATION CENTER

(ed.) Takashi NISHIMOTO, *Okayama Prefectural Nature Conservation Center*
and

Volunteer Team of Plant Researchers of the Okayama Prefectural Nature Conservation Center

キーワード：秋の植物，岡山県自然保護センター，植物検索，分類。

はじめに

岡山県自然保護センターでは、自然観察会のために、観察の手助けとなるような資料を作成している。もともと里山であった所につくられたセンターは、身近に見られる植物がふつうに観察できる場所にある。春には日浦 (1975) の「春の植物の見分け方 (人里の陽地に限る)」を参考にして、春の植物の検索入門の自然観察会を開いた。この自然観察会は非常に好評であった。植物の分類の基本的な事柄が学習できるために、植物を観察するときの着目点がわかりやすいなどがその理由として考えられた。秋の植物についてもこうした検索表があるといいなと考えて、センターボランティアの方々にご相談したところ、気軽に協力してもいいという返事だった。そこで早速作ろうということになった。こうして作り始めてから、幾度か修正を加えながら版を重ね、3年経って何とか使えるものができた。

この報告書はボランティアの方々の成果を公表し、多くの方からの意見をいただいて、さらにいい検索表ができるようにということでもとめられた。本論にはいるに先立ち、製作の段階から色々ご指導いただいたセンターの観察会の講師で岡山

県植物研究会の古屋野寛、小島裕子両先生に感謝の意を表す。

作成の経緯

まず、監修者の西本がセンターで見られる主な秋の植物の中から、検索表としてまとめやすい植物を選定した。この植物から、ボランティアの方に担当を振り分けた。打ち合わせのためにボランティアの方に幾度か集まっていたが、植物の見分けるポイントを図解入りで説明した資料を作成した。できあがったものはセンターの「秋の植物の自然観察会」に使用して、一般の方にわかりやすいものになっているかを検討した。植物のスケッチや図の表し方などの修正を加えて、検索表を改訂していった。ここに示したものは、とりあえず現段階のものをまとめたものである。御意見、御批判をいただけると幸いである。

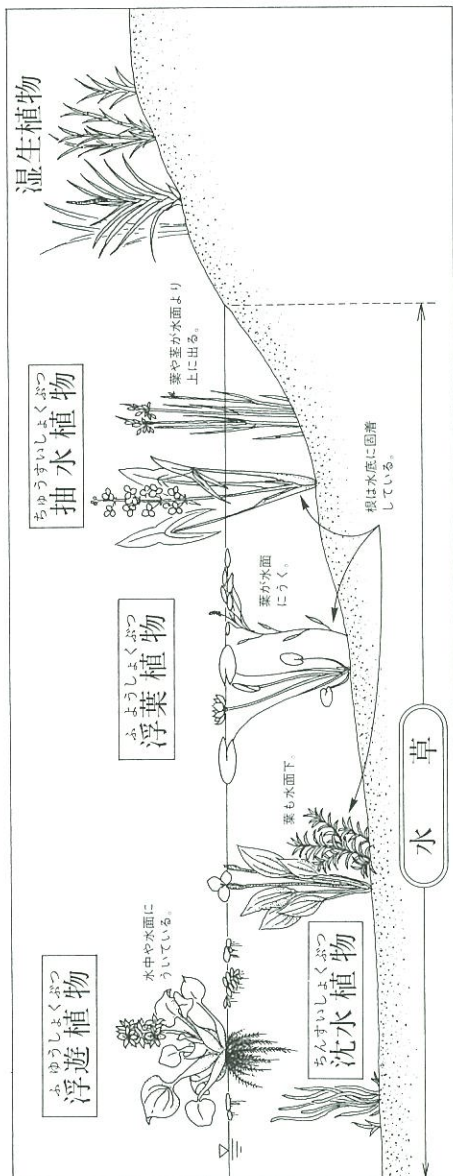
引用文献

- 日浦 勇, 1975. 自然観察入門. 224pp. 中央公論社, 東京.
滋賀の理科教材研究委員会編, 1989. 滋賀の水草. 56pp. 新学社, 京都.

受理：1996年3月31日

植物検索 (秋編) 目次

岡山県自然保護センター



(出典：滋賀の水草)

水生植物 (水草) →表 1

単子葉植物 →表 2 ~ 3

イネ科 表 2

カヤツリグサ科 表 3

双子葉植物

離弁花類 (花びらがバラバラになる) →表 4 ~ 5

タデ科 表 4

オトギリソウ科 表 4

マメ科 表 5

合弁花類 (花びらがくっついている) →表 6 ~ 7

シソ科 表 6

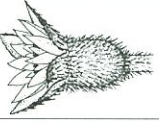

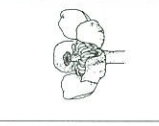



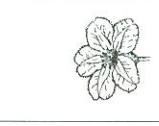



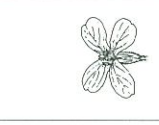
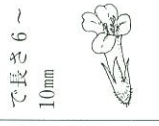
キキョウ科 表 6

リンドウ科 表 6

オミナエシ科 表 6

キク科 表 7

表1. 水草(1)

花	<p>紫色 径約4cm</p>  <p>ガク片4枚多数のおしべ、めしべ1, 子房は下位でとげを密生する。</p>	<p>淡紅紫色 径約1.5cm</p>  <p>ガク片3枚, 花弁3, おしべは多数, 花被より短く, 中央に6~18個の雌しべがある。</p>	<p>黄色 径約5cm</p>  <p>ガク片5枚で色は黄色, 花弁はガクの内側, リン片状が10~20個中央に雌しべがある。</p>	<p>白色 径約5cm</p>  <p>ガク片4枚, 色は緑, 雄しべ多数, 雌しべ1, 子房は球形に近い。</p>	<p>白色 径約1.5cm</p>  <p>ガクは5裂して径約1~1.5cm</p> <p>めしべ</p> <p>ガクは5裂して短く鈍頭, 裂片の内面は白毛が密生する。</p>	<p>白色 中心黄色 径約1.5cm</p>  <p>めしべ</p> <p>雄しべ5, 雌しべ1, 子房上位</p>	<p>黄色 径約3cm</p>  <p>雄しべ5, 雌しべ1, 子房上位で花柱頭は深く2裂する。</p>	<p>淡紫色 径約4mm 花茎は高さ10~30cm</p>  <p>距は前方につまみで</p> <p>花茎は高さ7~15cm</p> <p>距は下を向く</p> <p>ガクが果実を包み形も大ききみにみかきにている。地中に微細な補虫のうを付ける。</p>	<p>黄色 径約3.5~4mm 花茎は高さ7~15cm</p>  <p>距は下を向き短かい</p> <p>葉は細いへら形の細い葉をつける。</p>	<p>白色</p>  <p>ガク片4, 雄しべ4, 雌しべ1, 花弁4</p> <p>とじんの果実</p> <p>葉は茎の先を集って水面に浮かぶ</p>	<p>紅紫色 花冠は筒状で長さ6~10mm</p>  <p>ガクは5裂して長さ5~6mm, 茎は凹く長さは10~30cm</p> <p>水中の葉は1~3回羽状全裂し, 空中のものは小形で, 数対に羽裂する。</p>	<p>淡紅紫色</p>  <p>淡紅紫</p> <p>ガク片3, 雄しべ6, 花柱3, 花弁3</p> <p>葉は眼のように薄いうに薄いう</p>	
葉	<p>葉身は円形で直径1~1.5cm, ときによっては2m以上になる。</p>	<p>葉は水面に浮かび, 長さ5~15cm</p>	<p>抽水葉は20~40cmで矢じりの形。</p>	<p>葉は水面に浮かび, 長さ10cm位中央に葉柄がT字形につく。</p>	<p>葉は長さ1~2cm短く葉柄をもつ葉がついて水面に浮かぶ。</p>	<p>葉は円形で径6~12cm</p>	<p>数個のりん片葉と, へら形の葉を数個をつける。</p>	<p>空中に1cm内外細い葉をつける。</p>	<p>葉は細いへら形の細い葉をつける。</p>	<p>葉は茎の先を集って水面に浮かぶ</p>	<p>水中の葉は1~3回羽状全裂し, 空中のものは小形で, 数対に羽裂する。</p>		
花期	<p>東北地方中部~九州 8~9月</p>	<p>日本全土 6~8月</p>	<p>日本全土 6~9月</p>	<p>日本全土 6~11月</p>	<p>日本全土 4~8月</p>	<p>本州, 四国, 九州 7~9月</p>	<p>本州, 四国, 九州 6~9月</p>	<p>日本全土 6~9月</p>	<p>日本全土 8~9月</p>	<p>日本全土 7~10月</p>	<p>本州, 四国, 九州 8~10月</p>	<p>本州, 四国, 九州 8~10月</p>	<p>本州, 四国, 九州 8~10月</p>
和名	オニバス(浮葉植物)	ジュンサイ(浮葉植物)	コウホネ(抽水植物)	ヒツジグサ(浮葉植物)	ミツガシワ(抽水植物)	ガガブタ(浮葉植物)	アサザ(浮葉植物)	ホザキノミミカキグサ	ムラサキミミカキグサ	ヒシ(浮葉植物)	キクモ(沈水植物)	ミスオオバコ(沈水植物)	トチカガミ科
科名	スイレン科	スイレン科	スイレン科	ミツガシワ科	ミツガシワ科	ミツガシワ科	ミツガシワ科	タヌキモ科	タヌキモ科	ヒシ科	ゴマノハグサ科	ゴマノハグサ科	トチカガミ科

(担当: 運 拓治)

表1. 水草(2)


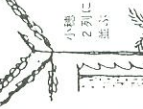

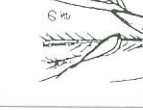
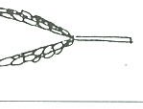

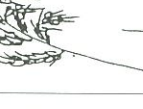






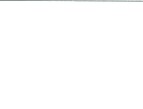

花	小さい多数集まって穂となる。黄緑色。水面上で開花。結実期には穂全体が沈む。	白い毛径約5~7mm, 花茎の高さ約10~30cm	花茎は10cm以下のものが多い。頂に一個の花をつける。	無数の雌花が集まって7.5~20cm程の穂になる。雄花は5.5~13cm4つがくっついていてる。	無数の雌花が集まって4~12cm程の穂になる。雄花は3~9cmはなれてる。	無数の雌花が集まって5~22cm程の穂になる。雄花は11~35cmはなれてる。	上方の雄花は白色だが、下方の雌花は、緑かかってコントラストに見える。	花序は幅6~10mm以下で長さ4~7cm, 黄緑色の穂状	花序は幅5mm以下で長さ8~11cm, 淡黄色の穂状
ガク (花弁)	頭花は半球形, 径5~7mm, 下に長くつながった総苞片が1列に並ぶ。花弁3, めしべ1がある。3の倍数になる。	頭花は半球形, 径5~7mm, 下に長くつながった総苞片が1列に並ぶ。花弁3, めしべ1がある。3の倍数になる。	頭花の下に長い総苞片がある。お房は2室花柱の先に2裂というように2の倍数になる。	雄花の集まり 雌花の集まり	雄花の集まり 雌花の集まり	雄花の集まり 雌花の集まり	花茎は直立	花は軸の回りに隙間なくつく。	
葉	葉は二通り有り, 水面上と水中が有る。 ヘルムシロ水中の葉葉柄がない。浮いてくる葉葉柄がある。	葉の長さ10~20cm	葉の長さ3~10cm, 先が細く尖っている。	葉の幅1~2cm	葉の幅0.5~0.8cm	葉の幅0.5~1.5cm	葉は直立し, 幅1~2cmで中央に太き脈が通る	花被片6, 雄しべ6が1個の雌しべを取り巻いている。	葉は根茎の先に2列に並んで出る。長さ20~50cm, 幅3~8mmで中央に高い脈がない。
花期	日本全土 6~9月	本州, 四国, 九州 8~10月	日本全土 8~10月	北海道, 本州, 四国 6~8月	本州, 四国, 九州 6~8月	日本全土 7~8月	日本全土 6~8月	日本全土 5~6月	本州, 四国, 九州 4~5月
和名	ヘルムシロ (浮葉植物)	シロイヌヒゲ	イトイヌヒゲ	ガマ (抽水植物)	コガマ (抽水植物)	ヒメガマ (抽水植物)	ミクリ (抽水植物)	シヨウブ (抽水植物)	セキショウ
科名	ヘルムシロ科	ホシクサ科	イトイヌヒゲ科	ガマ科	コガマ科	ヒメガマ科	ミクリ科	シヨウブ科	セキショウ科

種類の見分け方

中央派	シヨウブ	セキショウ
長さ	50~120cm	なし
軸	10~25mm	5~7mm
花	長さ 4~7cm 太さ 6~10mm	長さ 8~11cm 太さ 5mm
生育場所	池 沼	川の上流, 小川

(担当: 運 拓治)

表2. イネ科(1)

花(色・形・状)		穂立	直立																		
小穂		小穂 2列に 並ぶ	3mm	節から根を 出してはう 枝が立つ	30~70cm	8~20cm 5~15mm		たばになっ て斜めに立 つ													アキメヒシバ
茎		のき 4mm 花序の一部 白毛	3.5~4.5mm	かたまつて 直立 枝なし	50~120cm	0.8~1.5m 20~40cm 6~15mm		たばになっ て立つ													山野・多年草 トダシバ (荒川の戸田)
高さ		花序		長く地をばう 枝が立上る 節無毛	38~80cm	7~20cm 8~12m															草原・多年草 メリケヤ カルカヤ
長さ		のき 5mm	5mm																		湿地・多年草 カモノハシ (鴨 嘴)
幅		のき 葉のつる 色	3~4mm	根もと近く 2枚折れ	0.6~1.2m																水田・一年草 タイヌビエ
葉		のき 葉のつる 色 緑色紫かっ色	3~4mm	根もと近く 2枚折れ	0.6~1.2m																あき地・一年草 ケイヌビエ (ハリネズミの草)
生育地		のき 葉花 淡緑色 葉花 淡紫色		かたい・太い 直立	1~2m	0.5~1m 2~3cm															あき地・一年草 イヌビエ
和名		のき 葉かかる 白緑色	4~5mm	かたい 直立	0.5~1.5m	30~60cm 6~12mm 葉面ふちと もざらつく															水中・多年草 マコモ (貞蕨)
		先垂れ	1.8~2mm	かたい 直立	30~80cm																草原・多年草 ノガリヤス (西塔茅)
		平たく包顆なし	5~6mm	細い ねる 下方長い																	湿地・一年草 ヌカキビ
		節にかたい 毛 横にはつた 基部より立 枝	5~6mm	葉しようは ざらつかない。	50cm	8~15cm 5~10mm															湿地・多年草 サヤヌグサ
		下向の毛が するどくひ つかかる。 地表をはう																			湿地・多年草 アシカキ (足掻き)

(担当：山崎 光)

表2. イネ科(3)

穂の形	円柱状の穂 (ネコのしっぽ状)				果実(ルーペで見る)	茎	葉	和名
	白い毛	黄褐色の毛	紫褐色の毛	(試験管ブラシ状)				
紫をおびることあり 6 cm ほど	8 cm ほど	毛の長さ 7~9 mm	毛の長さ 5~6 mm	葉の長さ 10~15 cm	閉じている	丸い円筒形で、葉のつく所に節がある(桿)	30~50cmの葉は、基部に集って叢生する	エノコログサ
垂れない	垂れ下る	開いている	開いている	葉の長さ 7~9 mm	開いている	70~40cm		アキノエノコログサ
		閉じている	開いている	葉の長さ 7~9 mm	開いている	100~40cm		キンエノコログサ
		開いている	開いている	葉の長さ 7~9 mm	開いている	70~20cm		コソブキンエノコログサ
		開いている	開いている	葉の長さ 7~9 mm	開いている	80~30cm		チカラシバ

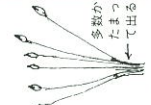






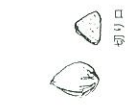
(担当: 池畑伸)

表2. イネ科(2)

花(色・形・状)	小穂	茎	高さ	長さ	幅	葉	生育地	和名
淡緑・紫かっ色	淡かっ色・紫かっ色	直立 細い 径 1~1.5mm	2 m	50cm	1.5~4 cm	葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	水辺・多年草	チゴザサ (稚児笹)
黒紫 白紫 黒紫 白紫	黒紫 白紫	はう 上部直立 細い枝分	30~40cm	2~6 cm	葉がコブナ の形で茎を 抱く	葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	湿気のある野 あぜ・一年草	コブナグサ (黄八丈)⑤
葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	はう 枝直立	10~30cm	3~7 cm	葉がコブナ の形で茎を 抱く	葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	山中・一年草	ケチチミザサ
葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	大きな株 直立	1~2 m	50~80cm	葉がコブナ の形で茎を 抱く	葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	山野・多年草	スス (尾花)
葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	根茎はう 1本づつ直立	1~2.5m	50~80cm	葉がコブナ の形で茎を 抱く	葉は動物の毛に似たり 毛なし 葉はなし	水辺・多年草	オギ (萩)



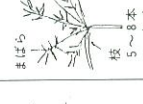






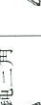


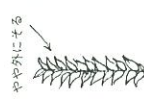
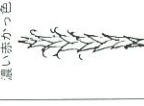

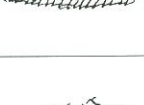

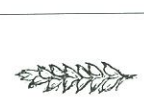


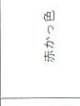


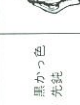
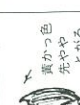

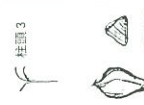


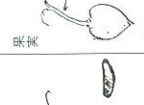



(担当: 山崎 光)

表3. カヤツリグサ科(1)

	一本の茎の先に小穂が1ヶつつく			一本の茎の先に小穂が球状になつてつく			一本の茎の先に包葉・長短の枝、枝先に小穂1~2ヶ			一本の茎の先に包葉・長短の枝、枝先に小穂が球状
シルエット		葉は多数かたまって出でる (りん片葉)	葉は多数かたまって出でる (りん片葉)	葉は多数かたまって出でる (りん片葉)	葉は多数かたまって出でる (りん片葉)	葉は多数かたまって出でる (りん片葉)	葉は多数かたまって出でる (りん片葉)	葉は多数かたまって出でる (りん片葉)	葉は多数かたまって出でる (りん片葉)	
高さ	8~25cm	0.4~1mm	30~50cm	15~40cm	10~30cm	10~20cm	20~40cm	15~60cm	150~200cm	25~60cm
茎断面		ときに3, 5稜	鋭い4稜	断面	鈍	変形三角	変形ひし形	変形ひし形	中にずいのしきり	鋭三角
小穂		淡かっ色 L 7~25mm W 3~6mm	淡かっ色 L 7~25mm W 3~6mm	赤かっ色へん平 L 10~20mm W 2.5~3.5mm 15~30花	緑白色へん平 L 3~7mm 20花	白緑色 2mm	かっ色 W 2.5~3.5mm 40花	黒かっ色 L 5~8mm 15花		暗緑色 L 4~7mm W 1mm
りん片		先が白い赤色をおひる	りん片の先は鋭い	りん片の先は鋭い	りん片の先は鋭い	りん片の先は鋭い	りん片の先は鋭い	りん片の先は鋭い	りん片の先は鋭い	りん片 L 0.5mm
果実		刺針状花被片6ヶ(羽毛状・白色)	刺針状花被片(下向小刺針密生)	柱頭2	柱頭2 (とくに3)	柱頭2	柱頭3	柱頭2	柱頭2裂	
特徴		細い地下茎から茎と葉が束になつてでる	柱茎は落ちる	むらがつて出る	シロガヤツリより小さい					葉はもつともやわらかく折れやすい
生着地	水田・地湿	水田・湿地	原野・湿地	山の湿地	湿地~乾燥	湿地	湿地	湿地	池沼	湿地
時期	1年草・6~10月	多年草・夏	多年草・7~10月	1年草・8~10月	1年草・8~10月	1年草・8~10月	1年草・7~10月	1年草・7~10月	多年草・8~10月	1年草・8~9月
和名	ハリイ	シカクイ	マシカクイ	カワラスガナ	アオガヤツリ	ヒメアオガヤツリ	ヒデリコ	テンツキ	フトオイ	タマガヤツリ
属名	ハリイ属			カヤツリグサ属			テンツキ属			ホタルイ属

(担当: 近藤寛夫)

表3. カヤツリグサ科(2)

	一本の茎の先に包葉・長短の枝、小穂が櫛状につく(1)	一本の茎の先に包葉・長短の枝、小穂が櫛状につく(2)	一本の茎の中間に小穂が数々(実は小穂より)上は包葉	一本の茎の上方に数々の円筒状小穂(頭を下げる)			
シルエット							
高さ	10~60cm	15~40cm	30~40cm	30~40cm	30~60cm	30~50cm	
断面							
小穂							
りん片							
果実							
特徴	香附子、10~11月かけ干し、風邪・整腸	赤紫のひげ根、茎はひと所からかたまって立つ	前葉、枝のつけ根	三稜果の中心で小穂の色がもつとも濃い	イヌホタルイホタルイより大型で耕作中の水田に多い	クロボスグサ節、りん片の黒いものが多い	花柱2、果実
生育地	畑地	畑地・あぜ	休耕田	湿地	湿地	池沿岸	あぜ道・池沼
時期	1年草	1年草	1年草	1年草	1年草	多年草	多年草
和名	チャガヤツリ	アゼガヤツリ	オニガヤツリ	ウシクグ	ボタルイ(イヌホタルイ)	カンガレイ	タスキラン
属名	カヤツリグサ属			ホタルイ属			スゲ属

(担当:近藤寛夫)

表4. タデ科・オトギリソウ科

表A. 花弁があるものややないものがある。*葉鞘とは、葉のつけ根にある托葉がくつき茎を包む鞘状となったもの

花つきかた		金平鞘状につく		まばらにつく	
かたまりにつく 	濃いピンク	紅色	淡紅色	上：赤色 下：白色	白くてふちがピンク
花	6~10月	5~10月	7~10月	9~10月	7~10月
色	直立 枝分かれが多い	つる状 下向き刺	直立 四角の茎 下向き刺	直立 短い刺がまばら	横にねた基部から立ち上がる小さな刺
葉	深緑色	ハート型	無毛 縹状	長い毛	縁が縹のように広がる 矛形
葉柄	葉鞘と同じ長さの毛	長三角形 先尖る 凹む 長い	細長い柳葉形 矢尻形 ごく短い	矢の根形 浅いハート	
葉形	ごく短い				
葉の大きさ					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					
花					
色					
葉					
葉柄					

表B. 花びらが1枚ずつ離れ放射相称












花つきかた		花	
黄白色	花弁は多数	黄色	花弁は多数
茎	直立 枝少なめ 50cm	直立 枝少なめ 50cm	直立 枝少なめ 50cm
葉	対生	対生	対生
葉柄			
花			
色			
葉			
葉柄			
花			
色			
葉			
葉柄			
花			
色			
葉			
葉柄			
花			
色			
葉			
葉柄			
花			
色			
葉			
葉柄			

(担当：西平直美)

(担当：西平直美)












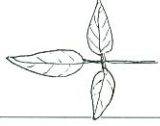




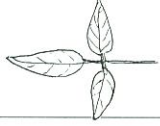



タデ科

表5. マメ科(1)

花の色	紅紫色					黄色						
	葉	楕円形、圧毛	楕円形	楕円形、圧毛	扁平、ほぼ円形、圧毛	ダイズの小型褐色毛	褐色毛	熟すと鮮紅色の光沢黒色の2種子	扁平、短毛を密生	無毛6~8節、熟すと節から離れて落ちる	短毛	
果実												
茎	6~8mm 草茎木1~1.5m	5~7mm 枝たれず 草茎木1~2m	6~7mm 草茎木1~1.5m	6~7mm 14~40cm	2~3cm つる 下向き	6~8cm つる 剛毛	2cm つる 軟毛を密生	4~5cm つる 軟毛	3~5cm 直立 無毛	3~4cm 直立 短毛		
葉	3出複葉											
葉	楕円形、長楕円形、先がやや尖っているが幅広く両面に伏毛	楕円形、葉裏に圧毛	楕円形、やや薄質	長楕円形、鈍頭、葉の先を引くと矢筈形に切り取れる	狭卵形、細毛	大型、葉裏に白短毛	葉縁の上方がふくらむやや厚質で軟毛を密生	葉縁の下方がふくらむやや薄質で軟毛もやや少ない	卵状菱形、先がやや尖っているが幅広く短毛あり	下面が白い葉先が丸い夕方小葉をたたむ	葉先が尖る	
	その他	山野 多年草6~10月	山野 多年草7~9月	山野 多年草8~10月	山野 多年草8~9月	野原 1年草8~9月	林縁、道端 多年草8~9月	林縁 多年草7~9月	林縁 多年草6~9月	野原 多年草8~9月	河岸など湿地 1年草8~10月	陽地の河原野原 1年草8~10月
和名	ニシキハギ	ミヤキノハギ	ヤマハハギ	ヤハズソウ	ツルマメ	ク	タンキリマメ	トキリマメ	ノアズキ	クサネム	カワラケツメイ	
科名	マメ科											

(担当: 谷口由紀子・吉松清香・林 清治)

表5. マメ科(2)

花の色	淡紅色		白色	黄白(紫斑あり)	青紫色
果実	凹筒形, 短 圧毛 	種子2個 かき状の短毛 くつつきや すい 	広卵形 斜上する軟 毛が密生 	扁平な卵形 圧毛を散生 	褐色毛のガ クに包まれ る 
丈	2.5~3 cm 	5~7 mm 直立, 枝たれず 60~100 cm 	3~4 mm 地を這う 基部で分枝 	6~8 mm 直立, 有毛 高さ60~100 cm 	1~1.5 cm 直立 高さ20~50 cm 
葉	3 出複葉				
その他	7~11枚の 小葉 両面に伏毛 がまばら 	長卵形, 鋭 頭 薄質 	軟毛 凹頭が多い 	葉裏に伏毛 凹頭または 凹頭 	線形~広線 形 ほとんど無 柄で互生 表面は無毛 裏面は褐色 毛 
	日当のよい道端 草丈7~9月 コツツナギ 	林縁 多年草7~9月 ススビトハギ 	道端や草原 1年草8~10月 ヤブマメ 	道端や草地 多年草7~9月 ネコハギ 	日当のよい道端 1年草7~9月 タヌキマメ 
和名	コツツナギ	ススビトハギ	ネコハギ	メドハギ	タヌキマメ
科名	マメ科				

(担当: 谷口由紀子・吉松清香・林 清治)

表6. シソ科・キキョウ科・リンドウ科・オミナエシ科

花の色	白色	淡紅紫色	淡紫色	紅紫色	青紫色	紺色	青紫色	青紫色	白色で紙がある	黄色
シルエット										
茎	無毛で節にだけ少し白い毛がある	方形の断面で毛がある	ちぎると白い乳液がでる	直上または斜上する	つる性の茎	やや角ばり太さ1~2mm	茎の下部に多少粗毛がある			
葉	きよ歯が鋭い	長さ2から4cm, 幅1から2cm, 粗きよ歯がある	長さ4から7cm, 幅5から15mm	長さ4から7cm, 幅1.5から4cm	長さ4から8cm, 幅5から40mm, 4から3個輪生	花は釣鐘形をし花冠が長くなる	長さ4から12cm, 幅1から3cm	長さ3から8cm, 幅1から3cm	長さ1から3.5cm, 幅1から3mm	秋の七草のひとつ
特徴	湿原に多い	谷間の木陰を好む	湿原に多く咲く	秋の七草のひとつ根は薬用になる	花は釣鐘形をし花冠が長くなる	草丈は40から100cmになる	草丈は50から100cmになる	草丈は20から80cmになる	草丈は5から25cmになる	草丈は60から100cmになる
和名	ヒメシロネ	ヒメジソ	サワギキョウ	キキョウ	ツリガネニンジン	リンドウ	ツルリンドウ	センブリ	オミナエシ	
科名	シソ科			キキョウ科			リンドウ科			

(担当: 石原浩一郎・松本達郎・山口一夫)

表7. キク科(1)

		乳液は出ない												
		頭花の中心に筒状花が集まり、まわりに舌状花がならぶ												
色		黄色	白色	白～淡紫色	淡紫色	薄紫色	白色	白色	黄色					
ちぎると白い乳液が出る	頭花は舌状花だけからなる													
シルエット(花)														
高さcm		30~100	50~100	150	60~100	50~120	80~180	30~100	40~80	10~60	30~100	100~150	100~250	
見分けるポイント		葉はうすくてやわらかく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	葉はうすく、くだけはない	
和名		アキノノゲシ	ヤクシソウ	スイラン	シラヤマギク	ヤマシロギク(イナカギク)	ホウキギク	ヒロハハギキク	ノコンギク	リュウノウギク	タカサブロウ	センダングサ	アメリカセンダングサ	セイタカアワダチソウ
科名		キク科 (タンポポ科)			キク科 (キク亜科)									

(担当: 地蔵 恵・竹内武夫)

表7. キク科(2)

乳液は出ない													
頭花は筒状花だけが舌状花があっても目立たない													
色	白色	淡褐色	淡黄緑色	暗赤色	赤紫色	赤紫色	淡紅～白色	白色	緑色	黄白色	淡緑色	淡黄色	黄褐色
シラエット(花)													
高さcm	50～150	100～180	50～150	50～80	50～150	50～100	40～80	100～200	30～100	50～100	30～60	50～100	30～80
葉(茎)													
見分けるポイント	頭花に舌状花がある 茎の全面に白い毛が多い 全体黄緑色	茎や葉にヒロード状の毛 全体白っぽい線にみえる	葉はやわらかくふぞろいの切れこみ 柄はない	茎は水気が多く葉は濃緑色 シユンケンクに似た香りがある	葉は羽状に全裂 両面に細毛	湿地に生える 根出葉あり 両面無毛 頭花は横向きで終ると上を向く	日当たりのよい湿地 対生する葉に葉柄がない	葉は対生し裏に脈点がある	茎葉とも軟毛 葉は2～3回羽状に裂ける	葉の下面・茎は綿毛を密生して白いもむとよい香りがある	根生葉は白毛におおわれる 花時には無毛でつやがあり、糸のように細くなる	ほとんど無毛 厚くて光沢がある	葉の上面は無毛 下面は毛が密生
和名	ヒムカシヨモギ	オアレチナギク	ダントロロギク	ベニハナソロギク	タムラソウ	キセルアザミ	サワヒヨドリ	ヒヨドリバナ	ブタクサ	ヨモギ	カワラヨモギ	オトコヨモギ	イヌヨモギ
科名	キク科 (キク亜科)												

(担当: 地職 恵・竹内武夫)